

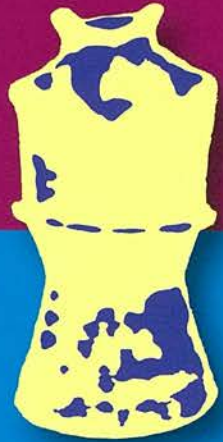
FUKUSHIMA MUSEUM

秋の企画展

東北大学総合学術博物館のすべてXIII

考古学 からの 挑戦

—東北大学考古学研究の軌跡—



福島県立博物館

2013年

10/5 (土) ~ 12/1 (日)

○会期中の休館日 祝日を除く月曜日
10月15日 11月5日

○開館時間 9:30 ~ 17:00
(入館は16:30まで)

○観覧料 一般・大学生……………500円(400円)
高校生……………300円(240円)
小・中学生……………200円(160円)
※()内は20名以上の団体料金

※ふくしま教育週間(11月1日~11月7日)は
小・中学生、高校生の企画展観覧料が無料となります。

○お問い合わせ先
福島県立博物館
〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25
TEL 0242-28-6000 FAX 0242-28-5986
URL <http://www.general-museum.fks.ed.jp/>
E-mail netmaster@general-museum.fks.ed.jp

主催 東北大学総合学術博物館 東北歴史博物館 福島県立博物館

考古学からの挑戦

—東北大学考古学研究の軌跡—

東北大学における考古学研究は、理学部の松本彦七郎、医学部解剖学教室の長谷部言人・山内清男らにより、大正年間から開始されました。大正14年(1925)には、喜田貞吉などが中心となり「奥羽史料調査部」を創設し、東北地方史研究の拠点として、原始・古代の資料収集と調査研究を推し進めました。このような研究の流れは、弥生時代の遺跡や多賀城跡、陸奥国分寺跡などの調査で大きな成果をもたらした伊東信雄や、旧石器時代の研究に精力的にとりくんだ芹沢長介に受け継がれました。

今回の企画展では、長年にわたる調査・研究によって蓄積されてきた膨大な資料のなかから、福島県関連の資料も含め、考古学の研究史に登場する著名な遺跡の出土資料を中心に紹介し、先学が歩んできた考古学研究の足跡をたどります。

展示テーマ

- 1 人類文化の起源を求めて—最古の狩人たち—
- 2 縄文文化の探究
- 3 東北の弥生文化の実像を求めて—北にひろがる米作り—
- 4 東北の古墳文化の解明に挑む—一枚の鏡から—
- 5 古代陸奥国を掘る—律令支配のあかし—
- 6 考古学研究史に足跡を印した東北大学の先駆者たち



尖頭器(新潟県田沢遺跡)旧石器時代



遮光器土偶(秋田県藤株遺跡)縄文時代



台付浅鉢形土器(宮城県沼津貝塚)縄文時代 重要文化財



液体濾過土器(福島県竈原遺跡)縄文時代



鹿文埴(宮城県多賀城跡)平安時代



高杯(青森県瀬野遺跡)弥生時代



頭椎大刀(宮城県山田古墳)古墳時代

○記念講演会

10月12日(土)

「東北大学の旧石器文化研究—日本最古の文化を掘り下げる—」
東北大学総合学術博物館教授 柳田俊雄氏

11月3日(日・祝)

「サハリン考古学の先駆者 伊東信雄博士」
東北大学大学院文学研究科教授 阿子島香氏

11月23日(土・祝)

「弥生文化・古墳文化・続縄文文化」
福島県考古学会顧問 中村五郎氏

* 各回とも時間は13:30~15:00 場所は当館講堂 入場無料

○展示解説会

10月12日(土)・11月3日(日・祝)

* 各回とも講演会終了後 場所は当館企画展示室



○交通案内

- ・JR会津若松駅から約3km ・タクシーで約10分
- ・バス(会津若松駅バスターミナルから)
まちなか周遊バス(ハイカラさん)で約20分 三の丸口下車すぐ
まちなか周遊バス(あかべえ)で約30分 三の丸口下車すぐ

福島県立博物館